

令和5年7月 日

主催：あきた数学教育学会 共催：秋田大学教育文化学部

あきた数学教育学会

第6回 定例研究会 及び 第1回わか杉セミナー

プログラム

あきた数学教育学会
研究部 事務局

あきた数学教育学会では、秋田県の数学教育の発展に努め、数学文化の振興・創造に寄与するため、下記のとおり定例研究会を開催します。

充実した研究会となりますよう、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1 日時

定例研究会 令和5年8月5日(土) 9:00～12:00(予定)
わか杉セミナー 同日 13:00～15:00(予定)

2 開催方法

研究活動の普及、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面とZoomを併用して開催します。Zoomの入室IDとパスワードは、研究会当日にお知らせいたします。

なお、初めてZoomを使用される場合は、後記「6 はじめてZoomを使用する場合」をご覧ください。

3 参加費

【正会員】無料 【準会員】無料 【一般】無料

4 プログラム及び発表概要

7:30～8:30 IDとパスワードの送信(参加者)
08:50～8:55 動作確認テスト、入室(参加者)
0 *ミーティングID①
9:00～9:05 会長挨拶
9:10～9:40 研究発表1 統計的な問題解決過程におけるICT活用に関する考察

☆発表者と役員が秋田大学教育文化学部からのZoom配信します。会員の皆様はZoomでご参加ください。

小学校算数科第6学年「データの活用」領域における授業を事例として
柳田 健 先生(大仙市立大曲小学校)
加藤 慎一 先生(秋田大学)

発表要旨:

小学校算数科では、日常生活の問題を解決するために、様々なデータを収集・整理・分析し、その結果をもとに判断・表現できる力の育成が求められている。本研究では、その力の育成に向けて、評価・改善

のプロセスを促進するためや児童の作業の効率化によって児童が思考する時間を確保するため、協働的な学びの充実を図るための手段としてICT活用を位置付け、単元および授業を構想し実践した。本発表では、ICTが、統計的探究プロセスを促進することや児童がデータを分析し結論づけること、児童が導き出した結論の妥当性について批判的に考察することにどのような影響をもたらしていたか、実践の成果と課題を報告する。

9:45～10:15 研究発表2 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した研修プログラムの開発

小松田 哲也 先生 (秋田県総合教育センター)

発表要旨：

秋田県総合教育センターでは、総合教育センターの三機能である「研修」「研究」「支援」を生かしたセンター研究を行っている。センター研究の一つとして、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申 令和3年1月26日)にある、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実についての研究を進めているところである。現段階までに進められた研究の内容等について発表させていただき、広く意見を求めたい。

10:15～10:25 休憩

10:25～10:55 研究発表3 学ぶ意義を実感する数学授業の創造
～イービスアショアを題材として～

中村 東 先生 (秋田県立金足農業高校)

発表要旨：

「ICTを活用した深い学びのある授業」というテーマの基で行う本学会提案授業として、深い学びの実現と数学の学習意欲向上をねらいとした授業を目指した。そこで、数学とICTを活用することで現実世界の問題を解決した事例として「イービスアショアに関する報道」を教材として扱うこととした。生徒が数学が現実の世界の問題を解決する過程を追体験することで、数学の有用性や学ぶ意義に気づき、学習意欲を向上させる授業を構想した。授業づくりの過程とその成果を発表する。

11:00～11:30 研究発表4 深い学びにつなげるためのICT活用について
～学び合いと振り返りに焦点をあてて～

佐々木 雅弘先生 (横手市立増田小学校)

発表要旨：

対話的で深い学びを授業で実現するためには、お互いの考えを比較検討して課題を解決し、自らの学びを振り返ることで学習の深まりを実感することが大変重要であると考えている。学び合いと振り返りの場面でICTを活用することで、学びの足跡(板書)と自分が理解した

こととの関連付けが図られ、児童自身が学習の深まりを実感できるのではないかと考え、授業での実践を考察する。

11:30～11:40 休憩

11:40～12:00 総会 (1)決算承認 (2)予算承認 (3)事業計画承認 (4)その他

12:00～13:00 休憩

<第1回わか杉セミナー>

13:00～15:00 ICTを活用した算数・数学の授業デザインの視点について考える
加藤 慎一 先生 (秋田大学)

15:00 閉会

- ◇ 各セッションとも、研究発表 (20分)、質疑 (10分) の流れで進めます。
- ◇ ミーティングIDは、当日朝 (7:30～8:30) にメール送信いたします。
- ◇ 提案発表される方は、7月24日(月)までに下記の「あきた数学教育学会」のアドレスまで、発表資料をお送りください。発表資料はA4判pdfに統一することになっております。

<あきた数学教育学会>

akita.math.society@gmail.com

5 事務局からのお願い

- ◇ 第2回わか杉セミナーは、「発展的思考・態度の育成に向けた教師の支援」(佐藤学先生、秋田大学大学院教育学研究科)をテーマに、令和6年3月23日(土)に開催します。参加費については、正会員、準会員は無料、一般は1,000円です。別紙「わか杉セミナー」の案内よりお申し込みください。
- ◇ 経費節約から、電子メールによる連絡を基本とします。ご登録用のメールアドレスを事務局 (310417@math.akita-u.ac.jp) までお知らせください。
- ◇ 学会費のご納入をお願いします。下記の郵便局振替口座へお送りください。一般参加費についてもこちらにご納入をお願いします。

振替口座： 02210-9-142895

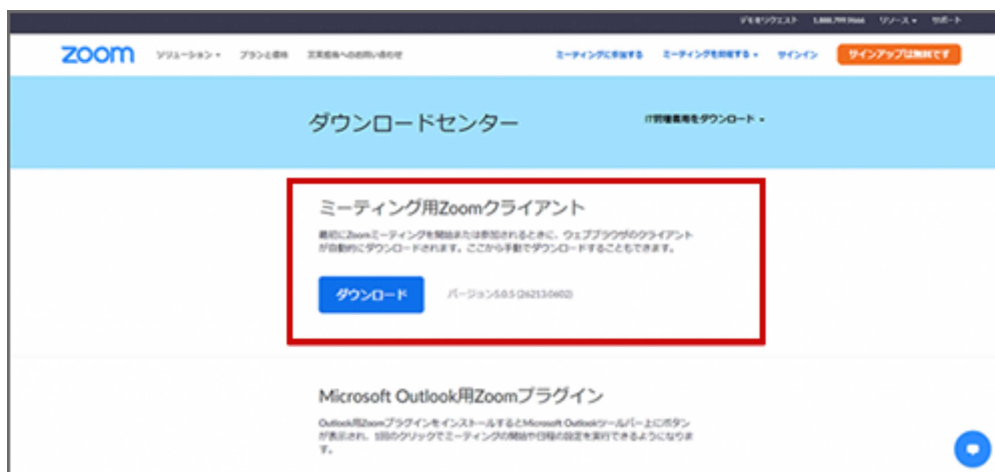
加入者名： あきた数学教育学会

学会費： (正会員) 2,000円 (準会員) 1,000円

6 はじめてZoomを使用する場合

- ① 下記URLよりパソコンZoomをインストールします。

https://zoom.us/download#client_4meeting

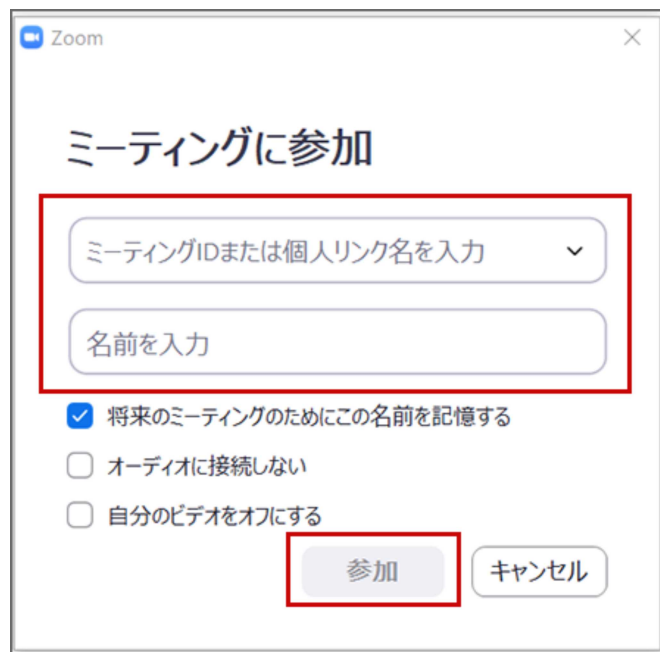


- ② 「ダウンロード」ボタンをクリックすると、「ZoomInstaller.exe」（Macの場合はZoom.pkg）がダウンロードされますので、ダウンロードが終わったらその「ZoomInstaller.exe（またはZoom.pkg）」をダブルクリックして実行します。

- ③ しばらくしてこの画面が表示されたら、Zoomのインストールが完了した状態です。



- ④ 「ミーティングに参加」のボタンをクリックして、ミーティングに参加します。
- ⑤ 事務局から送られてきた「ミーティングID」と、ご自身の「名前」を入力し、「参加」ボタンをクリックします。



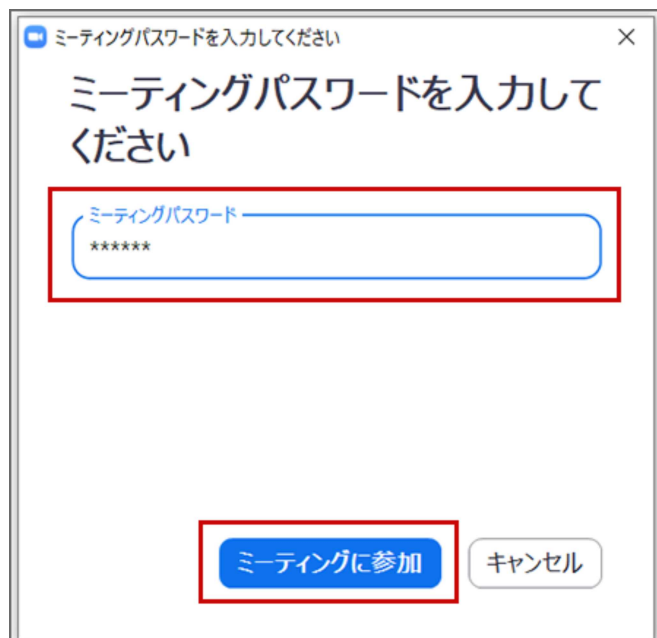
The image shows a Zoom meeting join dialog box titled "ミーティングに参加" (Join Meeting). It contains the following elements:

- A dropdown menu labeled "ミーティングIDまたは個人リンク名を入力" (Enter Meeting ID or Personal Link Name).
- A text input field labeled "名前を入力" (Enter Name).
- Three checkboxes:
 - 将来のミーティングのためにこの名前を記憶する (Remember this name for future meetings)
 - オーディオに接続しない (Do not connect to audio)
 - 自分のビデオをオフにする (Turn off my video)
- Two buttons at the bottom: "参加" (Join) and "キャンセル" (Cancel).

この「ミーティングID」と、⑥の「パスワード」は、「4 プログラム及び発表概要」のとおり、研究発表、総会すべて同じです。

なお、「将来のミーティングのためにこの名前を記憶する」のチェックは外しも問題ありません。

⑥ 事務局から送られてきた「パスワード」を入力し、「ミーティングに参加」ボタンをクリックします。



The image shows a Zoom meeting password dialog box titled "ミーティングパスワードを入力してください" (Enter Meeting Password). It contains the following elements:

- A text input field labeled "ミーティングパスワード" (Meeting Password) with asterisks (*****).
- Two buttons at the bottom: "ミーティングに参加" (Join Meeting) and "キャンセル" (Cancel).

⑦ カメラやマイクの使用確認が出た場合は、基本的には「使用する」を選択します。ミーティングに参加した後もカメラをオフにしたり、マイクをミュートにすることもできます。これでミーティングルームに入室できました。退出するときは、右下の「退出」をクリックするだけです。



なお、定例研究会に参加するだけの場合は、上記のとおり、事務局からお送りする「ミーティングID」と「パスワード」の入力だけでよく、アカウントの登録は不要です。